

November.2022

Vol.02

地 域 連 携

はびきの Medical Net



新病院ニュース

FUTURE

NEW TOPICS①

セミナーのご案内

学会報告さるーと

はびきのパーソン

PICK UP

地域医療連携ニュース①

地域医療連携ニュース②

連携医療機関のご紹介

NEW TOPICS②

お知らせ

内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ・システム」を導入します！

「人工関節手術の最新治療」 整形外科主任部長 塚本泰徳

新任医師からのごあいさつ

第9回はびきのアカデミー等

第17回 日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

薬局 看護部

地域になくてはならない手術室を目指して

「抗酸菌症認定医指導医による専門外来」 感染症内科主任部長 永井崇之

「高度医療機器の利用促進について」 医療技術部長兼診療放射線技師長 別所右一

市丸内科さま しまだクリニックさま

オンライン予約システム「C@RNA Connect」をご活用ください！

呼吸器内科、肺腫瘍内科、放射線科よりご案内

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪はびきの医療センター

私達は、最新の医療水準で、最適な医療サービスを、思いやりの心をこめて提供します。

新病院 ニュース

内視鏡手術支援ロボット ダビンチ・システム (Intuitive Surgical社製 da Vinci Surgical System) を導入します !!!

令和5年5月 新病院 開院予定
新病院の診療充実にかかる医療機器等をご紹介します !



新病院全景 (10月14日現在)



エントランスロビー (イメージ)



外来受付 (10月21日現在)

手術室などの整備

<手術室>

手術室は6室を整備します。
ハイブリッド手術室では、検査と治療を
並行することができます。



<ICU、HCU>

ICU(集中治療室)を4床、HCU(高度治療室)を
12床整備します。
ICUは、重症の患者さんの集中治療を行い、HCU
は、大きな手術の後や重症化リスクの高い場合に
入院いただきます。HCUは、ナースステーションから
すべての病室を見渡すことができ、患者さんの病状
の変化を見逃しません。



患者さんにやさしい診断治療



ダビンチ・システム(Intuitive Surgical社製da Vinci Surgical System)

<内視鏡手術支援ロボット>

当機器の導入により、泌尿器科における腎がん、前立腺がん、尿路上皮がん等の手術において幅広い低侵襲手術手技をサポートし、患者さんの早期の術後回復を図っていきます。

呼吸器外科における肺がん等の手術においては、早期活用を図るとともに、消化器外科における大腸がん・胃がん手術などにも当機器活用に向けた準備を進めてまいります。



<結石破碎装置>

結石破碎装置は円筒型電磁変換方式で衝撃波を発生させ体外より結石を破碎します。従来の装置より破碎効率が良く疼痛も軽減され低侵襲な治療方法です。麻酔の必要もなく外来通院での治療が可能であり患者さんの負担も少なくなります。

診断精度の向上

以下のシステムを導入し、画像の読影や解析を行い、診断精度の向上等を図ります。

1)AIを活用した読影システム

AIを用いることで、読影時間の短縮を図り、適切な画像診断に役立てます。

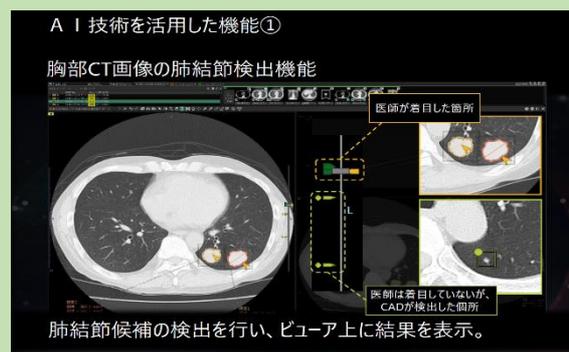
2)読影支援システム

(肺野経時差分システム(胸部単純X線画像))

現在、過去の胸部単純X線画像の差(変化の有無)を可視化し、診断精度向上と時間短縮を図ります。画像を通じた説明の際に、患者さんにとって病変が分かりやすくなります。

3)CT・MRI画像解析システム

肺や腎臓、膝関節等の解析、心臓検査等において高度3D処理機能を用いてCT、MRI画像解析を行います。





ロボット支援人工関節手術

近年、高齢化や肥満の進行に伴い変形性関節症を中心に下肢の変形・疼痛による日常生活動作（以下ADL）に障害のある患者さんが増加しています。

変形が軽度な初期の患者さんでは関節内注射やリハビリによる筋力強化などで、症状が軽快する可能性は高いですが、進行した関節症で変形・疼痛が強い患者さんでは保存的加療では症状の改善が難しく、手術療法（とりわけ人工関節手術）が必要となることが多くなります。

塚本 泰徳 (つかもとやすのり)

大阪はびきの医療センター
整形外科主任部長

【略歴】

- 1990 鳥取大学医学部卒業
- 1990 国立大阪南病院(現在 大阪南医療センター) 整形外科研修医
- 1992 暁明館病院 整形外科
- 1993 大阪府立千里救命救急センター レジデント
- 1994 阪和泉北病院 整形外科
- 1994 大阪大学医学部付属病院 整形外科
- 1995 柏原赤十字病院 整形外科
- 1998 大阪府立病院 整形外科 医長
- 2003 同病院改称 大阪府立急性期・総合医療センター
- 2005 NTT西日本大阪病院(現在 大阪第二警察病院)
- 2006 北大阪警察病院 整形外科部長
- 2014 同 医務部長・リハビリテーション技術科部長 (兼任)
- 2019 同病院改称 北大阪ほうせんか病院
- 2022 大阪はびきの医療センター 整形外科主任部長

【主な所属学会】

- 日本整形外科学会
(専門医・リウマチ医・スポーツ医・リハビリ医)
- 日本リウマチ学会(専門医)、
- 日本人工関節学会、日本股関節学会

【その他】

- 2011~2016 茨木市教育委員会就学指導委員会
委員 (後 教育センター就学指導医)
- 2012~2017 兵庫医科大学 臨床教育教授

変形性膝関節症のStage分類

立位X線像	立位X線像
<p>1, やや狭い 骨硬化または骨棘</p> <p>経過観察 湿布など</p>	<p>2, 狭い 関節裂隙の狭小化 (3mm未満)</p> <p>治療必要! 注射、装具</p>
<p>3, 軟骨消失 関節裂隙の閉鎖</p> <p>要手術検討</p>	<p>4, 骨破壊 過重面の摩耗 または欠損 (5mm未満)</p> <p>手術必要</p>



～疼痛、リハビリの負担の軽減のために～

人工関節手術とはすり減って痛んだ関節表面の軟骨を削り、人工関節で覆うことにより関節の痛みを取り除く手術であり、歯の治療で言う金歯・差し歯のようなものであります。

2003年、私が大阪府立急性期総合医療センターで人工関節を行っていた頃には日本でも10台ほどしか導入されていなかった人工膝関節のNavigation systemが導入されており、最先端の医療を提供することができていました。

現在でもコスト面の観点から主流はNavigation systemで手術を行う病院が多いのが現状ですが、今回、当院においては、新病院の建設と同時により、最新の設備を整えることとなりました。

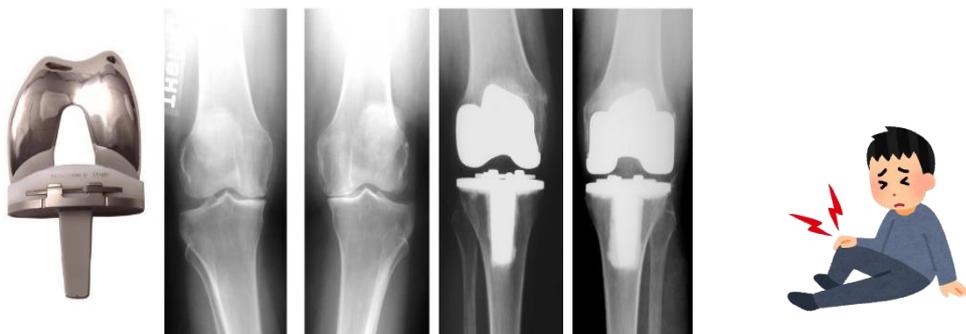
今回導入を予定しているのはNavigation systemではなく、さらに進化した人工関節支援ロボットです。人工股関節・人工膝関節共に使用できるロボットで術前に計画された骨切りを軟部組織の侵襲を最小限に抑える安全機構も備えており、安全に更に正確に人工関節の設置を行うことができます。

軟部組織の侵襲が軽減されることによって、早期のリハビリ介入や正確なインプラント設置に伴い長期の安定した成績が期待できます。

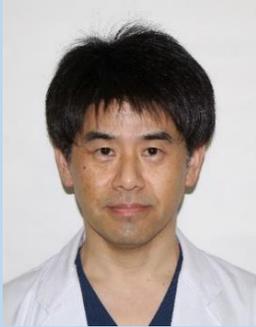
人工関節手術の歴史は約50年前に日本に導入、現在までに多くの改良がおこなわれてきましたが、まだまだ改善の余地があります、適切なインプラント設置のために20年前にNavigationの導入、数年前よりロボットの市販化が行われていますが、非常に高価なものであり、まだ導入されている病院は限られています。

手術支援ロボットの導入により、少しでも患者さんの疼痛軽減や、リハビリの負担が軽くなることを期待しています。

人工膝関節



新任医師からのごあいさつ



循環器内科 主任部長

原田 光一郎 先生

令和4年10月1日付けで循環器内科主任部長に就任いたしました原田光一郎です。大阪市立大学で初期研修を受け、東京大学大学院医学系研究科、米国ハーバード大学で研究生生活を過ごしました。帰国後は大阪大学、京都大学に各3年間勤務、国立循環器病センターに8年間勤務した後、前任地の市立吹田市民病院では6年間勤務いたしました。主にインターベンション治療（冠動脈および下肢動脈）の対象となる虚血性心疾患や心不全を専門にしておりましたが、前任地ではニーズに応じた幅広い対応を行って参りました。また社会貢献として、医療従事者を対象とした心肺蘇生教育にも20年近く心血を注いで参りました。

当センターは令和5年5月に新病院の開院を控えており、現在病院をあげて準備を行っているところです。その一環として大阪大学循環器内科坂田泰史教授のご高配のもと、小生も赴任をさせて頂きました。当科におきましても、近隣医療施設との連携を視野に、府民の皆様方に質の良い医療を提供できるよう診療科横断的に進めたいと考えています。また、看護師、技師、薬剤師、管理栄養士、事務系職員等との多種職のチームワークを主軸にした最善の医療を提供できるよう努力いたします。

皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。



消化器内科 部長

前山 晋吾 先生

2022年10月から消化器内科として着任いたしました前山晋吾です。消化器内科医として消化器疾患の外来診療だけでなく、上部・下部消化器内視鏡検査によるスクリーニングや大腸ポリープ切除、ESDなどの治療につきましても積極的に対応いたします。

また、B型肝炎、C型肝炎などのウイルス性肝疾患についても、当院内には肝臓専門医と大阪府肝炎医療コーディネーターがおり、DAA製剤（直接作用型抗ウイルス薬）などによる治療の対応が可能ですので、ご紹介をいただければ幸いです。地域の方々の消化器疾患の診療に貢献できるよう努めますので、何卒よろしくお願い致します。

新任医師からのごあいさつ

産婦人科 医長 長安 実加 先生

◆専門分野 婦人科腹腔鏡手術

◆ひとこと

2022年10月より着任いたしました長安実加と申します。以前もお世話になっていましたが、7年間奈良医大での勤務を経て戻ってまいりました。不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



呼吸器外科 診療主任 谷口 聖治 先生

◆専門分野 呼吸器外科一般

◆ひとこと

10月から勤務させていただくことになりました。呼吸器外科の一員として、真面目で迅速な医療をモットーに、今後の診療業務に励む所存です。よろしくお願いいたします。



産婦人科 診療主任 穂西 実加 先生

◆専門分野 産婦人科一般

◆ひとこと

初めまして、2022年10月より大阪はびきの医療センターで勤務させていただいております、穂西実加と申します。分娩数も手術件数も多い当院でしっかり勉強させていただければと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



セミナーのご案内

第9回 はびきのアカデミーを開催します

- ◆11月19日（土）15:00～16:35
（集会 {当センター管理診療棟2階 第1会議室} 及びWEB開催）
 - ・Session1 「産婦人科における遺伝子検査」 産婦人科副部長 安川 久吉
 - ・Session2 「小児の喘息性疾患～長期管理を中心に～」
小児科主任部長 亀田 誠

COVID-19の状況等をふまえ、集会及びWEBのハイブリッド開催とします。
ホームページに当セミナー申込方法をアップしていますので、皆様のご参加をお待ちしています。
URL : <https://www.ra.opho.jp/medical/laboratory/>

第20回大阪はびきの医療センター産婦人科勉強会 第26回はびきやま産婦人科セミナーを開催します

- ◆12月7日（水）17:00～19:00 （当センター病棟 12階会議室）
 - 【診療実績報告】 産婦人科主任部長 赤田 忍
 - 【一般演題】 「当院の無痛分娩の軌跡」 産婦人科副部長 安川久吉
 - 【特別講演】 座長 平松産婦人科クリニック 平松 恵三 先生
「HPVワクチンの積極的勧奨差し控えの弊害はキャッチアップ接種によって相殺されるのか？」
大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室
上田 豊 先生

皆様のご参加をお待ちしています（事前申込不要）。

第5回 はびきの耳鼻咽喉セミナーを開催します

- ◆ 12月17日（土）15:45～17:00 WEB開催
 - 【一般講演】 座長 いりふね耳鼻咽喉科 院長 入船 盛弘 先生
「アレルギー性鼻炎の最近の話題と COVID-19患者の嗅覚障害について」
耳鼻咽喉・頭頸部外科 医員 河辺 隆誠
「好酸球性副鼻腔炎とその周辺疾患について」
耳鼻咽喉・頭頸部外科 診療主任 奥野 未佳
 - 【特別講演】 座長 医務局長兼 耳鼻咽喉・頭頸部外科主任部長 川島 佳代子
「新型コロナウイルスの現状」
感染症内科 主任部長 永井 崇之

後日、ホームページに当セミナー申込方法をアップしますので、皆様のご参加をお待ちしています。

学会報告 さるーと



第17回 日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

第17回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会が2022年7月21日、22日に富山国際会議場で開かれました。

今回特別企画として、ダイバーシティ推進シンポジウムが“多職種の相互理解と意識改革”というテーマで行われ、当センターから医務局長 兼 耳鼻咽喉・頭頸部外科主任部長の川島佳代子先生と小児科病棟盛光涼子副看護師長がシンポジストとして参加しました。

川島主任部長は、「多職種で取り組む小児に対する舌下免疫療法」というタイトルで講演し、アレルギー性鼻炎をもつ小児に対して行っている舌下免疫療法の導入についての知見を発表し、小児アレルギーエドクター（PAE）とともに取り組んでいる様子を紹介しました。

また、盛光副看護師長からは、小児アレルギーエドクターとして食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎の小児に対する関わりとして院内で取り組んでいることの紹介や、院外でも小中学校、保育所、幼稚園向けの食物アレルギー講習会（エビペン講習会）や、一般向け、医療職や関連職種向けの喘息やスキンケアなどのアレルギー教室を開催していることを紹介しました。

このように、当センターでは医師だけでなく、様々な専門職とともに難治性疾患治療に取り組んでいます。



川島主任部長 講演の様子



盛光副看護師長 講演の様子



講演会後 演者の皆様とともに

薬局 薬剤師

和田 宜久
WADA YOSHIHISA

水族館で癒されて



薬剤師の和田と申します。
今年度で入職7年目になります。入職時より様々な経験をさせていただき、昨年度にアレルギー領域の資格（PAE、CAI）と感染症領域の資格（PIC）を取得することができました。

さて、私の趣味は水族館巡りです。（最近は行けていませんが…）各種イベントや体験はもちろんですが、館内の展示物であったり、解説を見るのが毎回楽しみで、行くたびに癒されています。施設ごとに特徴があり、例えば、沖縄美ら海水族館は広大な敷地を生かした展示（メインはやはりジンベエザメ！）、京都水族館は解説重視（ペンギン相関図が面白い!!）、伊勢シーパラダイスは触れ合い重視（セイウチに触れる!?) であったりします。新型コロナウイルス感染者数が落ち着けば、水族館へ癒されに足を運びたいと考えています。



沖縄美ら海水族館



京都水族館



伊勢シーパラダイス

看護部 5B病棟 (HCU) 副看護師長

森田 勝利
MORITA KATSUTOSHI



2万5千円のクルーザー 通称「風呂釜」

はじめはざりがに

釣りとの出会いは小学生の頃です。私はザリガニ釣りに夢中になり真っ暗のなか警察に搜索され、ザリガニ釣り禁止令が出た経験があります。

20歳になり、親世代の先輩に誘われ海釣りに。期待せずぼーっとしているとその先輩は何やら大きなエビの形に似たものを糸の先につけ、海へ投げ込みチョンチョン動かしては止めている、すると竿がグングン曲がりきれいなイカが釣れたのです。あんな偽物のエビのような物で…その時の感動で私の心の奥底の何かが目覚めました。

そこから看護学校に行きながら週6で和歌山に通っていた時期もあります（自宅は奈良です）。そしてイカ釣り名人になったころ、スズキ名人に出会いどんどん釣りの幅が大きくなっていきました。現在は、2万5千円のクルーザーを購入し、大海原に釣りに行くことが何よりの楽しみになっています。

あの朝日が昇るまでの静寂さ、海、山すべての見える景色を独り占めしている感じ、夢中になって現実を忘れる時間、魚がかかってあがってくるまでのドキドキ感、釣れた魚をおいしいといって食べてくれる子どもの笑顔、これが私の仕事の活力になっています。



荒磯の王者ヒラスズキ



「オジサン」の仲間とつたど〜



夏といえばシイラ



釣った魚を自分で料理

当センターでは、個性豊かなスタッフがそれぞれのセクションで明るくがんばっています。今後、この「はびきのパーソン」コーナーで紹介していきますので、少しでも当センターのスタッフに親しみを持っていただくと幸いです。



PICK UP



地域になくてはならない手術室を目指して

当センターは令和5年5月に新病院を開院します。
 「地域に信頼され地域になくてはならない医療機関」を目指して手術室も皆様に安心して安全に手術を受けていただけるよう努力を続けています。
 現在手術室は5室あり、1室は陰圧管理対応になっています。結核患者や新型コロナ患者の手術対応も可能です。
 新病院では、診療範囲を拡大するため、ハイブリッド手術室、ロボット対応手術室を増設します。本年4月から8月末までの手術件数および全身麻酔を主とした麻酔科管理件数は以下の通りです。

副看護部長兼看護師長 森本恭子
 麻酔科主任部長 高内裕司



	呼吸器外科	消化器外科	産婦人科	乳腺外科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	泌尿器科	皮膚科	整形外科
手術件数	99	68	272	50	183	88	25	26
麻酔科管理件数	93	60	108	31	65	51	2	14

* 手術件数は、各科の局所麻酔や脊髄くも膜下麻酔を含む

* 耳鼻咽喉・頭頸部外科は1症例で複数の手術件数を計上

■術前症例外科検討会

診療科医師、麻酔科医、看護師が合同で予定手術症例ごとに患者の全身状態と手術について検討します。



■手術準備

新設された整形外科は手術器械の種類が特に多く、事前に器械を確認しながら、手術当日の手順も医師と確認します。



■術前・術後

麻酔科医の術前術後診察や担当看護師の術前術後訪問があります。

患者さんの不安が少しでも軽くなるよう誠意をもって接しています。



■手術の様子

麻酔科医が患者の状態に応じて麻酔管理を行います。硬膜外麻酔や各種神経ブロックも併用しています。手術は各診療科で行いますが、産婦人科、消化器外科、泌尿器科などが協力して行うこともあります。がんの転移が見つければ診療科を超えて協力しています。



抗酸菌症認定医指導医による専門外来 ～慢性感染症を疑った場合には紹介を～

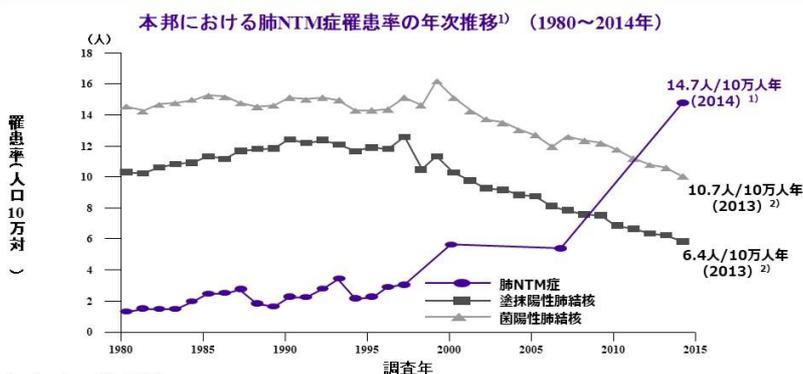
大阪はびきの医療センター
感染症内科 主任部長 永井 崇之

日本感染症学会推薦ICD



当院は1952年大阪府立結核療養所羽曳野病院として開設され、1957年には東洋最大規模の病床数1000床を有しておりました。現在は結核病床60床にて運用しております。2021年全国結核罹患率は9.2と低下しいよいよ低蔓延国となりました。大阪府は罹患率（2021年度13.3）が全国ワースト1の汚名を着せられ20年以上経過していましたが、なんと2021年度は長崎県にトップを譲ることとなりました。とはいえ1171人の新規登録患者がいらっしゃいます。

(図1) 肺NTM症の疫学: 罹患率の推移



※調査年によって実施団体が異なります
1980～1998年：国際研究班による調査結果
2001、2007年：研究協議会による調査結果
2014年：日本医療研究開発機構（AMED）の実用化研究事業支援による研究結果

2014年の試験概要：日本呼吸器学会認定施設・関連施設（884施設）を対象に、2014年1～3月の肺NTM症および結核の新規診断数を調査するアンケートを実施した。肺NTM症罹患率は、厚生労働省結核発生動向調査をもとに、アンケート回答における結核患者数に対する肺NTM症患者数の割合から推定

1) Namkoong H, et al. Emerg Infect Dis. 2016; 22(6): 1116-1117.
2) 日本医療研究開発機構。プレスリリース:呼吸器感染症を引き起こす肺非結核性抗酸菌症の国内患者数が7年前より2.6倍に増加—肺結核に匹敵する罹患率（2020年9月11日）より改変

図1をご覧ください。結核は順調に減少しているのですが、近年NTM（非結核性抗酸菌症）の増加が問題視されています。NTMはのんびりとした感染症ですが特に致死的となりうる感染症です（図2）。

特に繊維空洞型（FC）NTMは予後が悪いことが知られています。基礎疾患のない中高年女性に多い結節気管支拡張型（NB）は比較的予後は良好なのですが、再発例が多く軽症例においては胸部単純X線での診断困難な症例が多いです。NTMの約9割は肺MAC症（アビウム・イントラセラー感染症）ですが、近年肺アブセッサス症が増加傾向（NTMのうち3～5%）にあります。

(図2) 肺NTM症の疫学: 死亡者数の推移



詳細不明含む
厚生労働省、人口動態調査/人口動態統計 確定数 死亡 (2005～2019年)「統計で見る日本」(2021年1月20日閲覧)より改変

肺MAC症も治療に難渋することの多い疾患ですが、アブセッサス症はさらに治療が困難な疾患です。

難治性肺MAC症（標準治療半年以上への反応不良）に対する新薬も保険適応とされ、専門医療機関にて処方可能となっています。

当科は治療経験豊富なスタッフをそろえておりますので是非慢性感染症を疑った場合には当科をご紹介ください。

迅速な対応を心がけておりますのでよろしくお願いたします。

高度医療機器の利用促進について

大阪はびきの医療センター

医療技術部長兼診療放射線技師長 別所 右一

(特非) 肺がんCT検診認定機構 肺がんCT認定技師
 (特非) 日本磁気共鳴専門技術者認定機構 磁気共鳴専門技術者
 (一社) 医療情報学会 医療情報技師



いつも大切な患者様をご紹介いただきありがとうございます。当院では地域医療機関の診療業務の充実を図るために高度医療機器（CT・MRI等）を備え、共同利用事業による地域連携を行っています。

中でもCT検査は地域の先生方から多くご依頼を受け、診断をする上では必要不可欠な検査としてご活用いただいております。当院のCT装置は64列CTで、X線焦点の高速切替機能により1回転で128枚の画像を得ることができます。従来よりも短時間かつ低被ばくで検査ができるようになり、患者様にはより快適に検査を受けて頂いております。検査結果については、検査終了後直ちに当センターの画像診断医により的確な画像報告書（レポート）が作成され、ご依頼いただいた地域の先生方に速やかにお返しすることができます。

当センターでの検査予約に関しては、地域医療連携室を通じてのFAXでのご予約またはオンライン予約システム「C@RNA Connect」を是非ご利用ください。

新病院で導入予定の最新鋭2管球CT



最新技術により低被ばくによる検査のほかに2管球により、高速撮影と多彩な画像情報取得が可能



目的に応じて画像再構成も可能

来年5月には新病院での診療が始まります。放射線科では新たに最新鋭のCTを導入することになりました。X線管球を2つ装備しており短い時間での検査が可能になります。CTの他には最新鋭の3テスラMRI装置やガンマカメラも導入予定です。

更に最新のアプリケーションにより今まで以上に質の高い画像情報を提供できる機器として期待されています。

当院のみならず地域の先生方にもこれらの医療機器をより身近に、そして便利にご活用いただく事で、地域住民の方々の診療内容の充実、疾患の早期発見に関わっていけるようスタッフ一同努力してまいります。

導入予定のガンマカメラ装置



連携医療機関のご紹介

医療法人琴裕会 市丸内科

〒580-0016 大阪府松原市上田三丁目4-11ベルルYTK2階
 電話 072-333-3804
 URL <https://ichimaru-naika.com/>



市丸内科は2002年に開院以来、松原市他近隣の皆様の健康をお守りし、ゲートキーパー（必要に応じて専門医療機関を紹介する）としての役割を邁進して参りました。

診療体制も2018年より常勤医師2名（女性医師1人・男性医師1人）で診察できる体制を整えており、一人の患者様のご希望に寄り添いながらスムーズな外来が可能となりましたので、これまで以上に患者さまお一人お一人としっかり向き合いながら、十分な診察とわかりやすい説明をご提供致します。また当院では、通院困難な方への在宅医療（訪問治療）も積極的に行っております。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
16:00-19:00	○	○	○	/	○	/	/	/

各種エコー検査（月・水の午後）完全予約制です。木・土（奥田医師の診察になります）
 初診受付は、受付終了30分前（午前診：11時30分、午後診：18時30分）

医療法人健泉会 しまだクリニック

〒583-0086 大阪府羽曳野市恵我之荘1-8-12
 電話 072-954-3301
 URL <https://saisyouan.jp/shimada.html>



耳鼻科から始まった当院ですが、腎臓高血圧内科医も赴任し、扁桃炎に続発するIgA腎症など、耳鼻科領域から発症する腎臓疾患や内耳性めまいの他、血圧や血流など循環動態に起因するめまいなど幅広く対応できる態勢となりました。

はびきの医療センターと密な連携を頂きアレルギー性鼻炎、気管支喘息等のアレルギー疾患、一般内科領域での地域のプライマリーケアを担って参りたいと思います。



診療時間	診療科	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30-12:30	耳鼻咽喉科	○	○	○	/	○	○	/	/
	一般・腎臓内科	/	○	/	/	○	○	/	/
16:30-19:00	耳鼻咽喉科	○	○	○	/	○	/	/	/
	一般・腎臓内科	/	/	○	/	/	/	/	/

地域医療支援病院である当センターでは、地域の医療機関と当センターが協力のもと相互の機能を有効に活用し、診療情報の交換などによって医療連携を深め広げることにより、地域全体として患者さんにとってより質の高い医療を提供していくことを目的として登録医制度を実施しています。ぜひ登録をお願いいたします。ご質問や登録ご希望の先生方はお手数ですが地域医療連携室までご連絡をお願いします。

オンライン予約システム「C@RNA Connect」をご活用ください！

インターネットによる診療・検査の予約ができます！



① “インターネット”で診察予約を取得できます。

② 24時間365日いつでも簡単に予約ができます

③ 診療所様は“**無料**”でご利用頂けます

④ 案内状や情報提供書を診察室でプリントアウトして、
その場で患者さんにお渡しすることができます。

- ・2022年2月14日より、外来診療については全診療科で、検査についてはCT単純撮影のみ予約対応しております。
- ・暗号化されたVPN認証でセキュリティ対策しています。

本システムのご利用にあたっては、富士フィルムメディカル株式会社への利用登録が必要です。利用規約をご確認のうえ、新規申込書に必要事項を記載いただき、当センター地域医療連携室へご郵送ください。ご登録完了後、富士フィルムメディカル株式会社よりログインID・パスワードをお送りいたします。

皆さまからのお申込みお待ちしております。

詳しくは、**当センターホームページ**をご参照ください





◆呼吸器内科、肺腫瘍内科よりご案内◆

➤ 12月から肺腫瘍内科と呼吸器内科は完全予約制になります

医師の体制等により、肺腫瘍内科と呼吸器内科（12月から）は完全予約制とさせていただきます。

予約が取りにくい状況となりご迷惑をおかけいたします。

ご紹介に際しましては、地域医療連携室を通して必ずご予約をお取りくださいますようお願い申し上げます。

ご協力のほど、よろしく願いいたします。

◆放射線科よりご案内◆

➤ 放射線治療患者受け入れ中止のお知らせ

放射線治療機器(リニアック)の移転作業を2022年12月より行います。

そのため、2022年12月～2023年4月まで、当センターでの放射線治療を休止することとなりました。

新規の放射線治療患者のご紹介は11月よりお受け入れを休止させていただくとともに、当センターからの放射線治療のお受け入れを他の医療機関にお願いすることとなります。

照射開始時期が決まり次第、改めてお知らせいたします。

どうぞご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



◆令和4年度 地域医療連携に関するアンケートの実施について◆

昨年度に引き続き、9月に、主に南河内医療圏域の医療機関(729機関)を対象に「令和4年度 地域医療連携に関するアンケート」を実施しました。

9月30日までに152件のご回答をいただきました。

ご多忙の中にもかかわらず、誠にありがとうございました。



<院内診療科のご案内>

※4月に整形外科と救急診療科、7月に腎臓内科を開設しました！

感染症内科 肺腫瘍内科 緩和ケア科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科
アレルギー・リウマチ内科 小児科 消化器外科 乳腺外科 眼科 呼吸器外科 皮膚科
産婦人科 放射線科 泌尿器科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 歯科 麻酔科
リハビリテーション科 病理診断科 臨床検査科 整形外科(R4.4開設) 集中治療科
外来化学療法科 呼吸器内視鏡内科 救急診療科(R4.4開設) 腎臓内科(R4.7開設)

<病院機能指定>

- ・地域医療支援病院 ・エイズ治療拠点病院(結核・重症呼吸器感染症を併発したエイズ患者)
- ・大阪府アレルギー疾患医療拠点病院 ・第2種感染症指定医療機関
- ・難治性多剤耐性結核広域圏拠点病院 ・大阪府がん診療拠点病院(肺がん)
- ・母体保護法指定医師医療機関 ・特定診療災害医療センター
- ・労災保険指定医療機関 ・日本医療機能評価機構認定病院 ・2次救急告示医療機関
- ・大阪府小児地域医療センター ・大阪府新型コロナウイルス感染症重点医療機関

<発行>

大阪はびきの医療センター事務局 経営企画グループ

<ご連絡・お問い合わせ>

大阪はびきの医療センター地域医療連携室
直通:072-957-8030 代表:072-957-2121

FAX:072-957-8051

メールアドレス ; habikino-chiiki@ra.opho.jp

受付時間:月曜～金曜9:00～17:30